

令和四年度 滋賀県立八幡高等学校

推薦選抜 作文問題

受検番号

問題

次の文章は、農業を学ぶ十六歳の高校生が書いたものです。

この文章を参考にして、あなたが誰かに対して感謝の気持ちを感じた経験を具体的に書いてください。

(字数は五百字以上、六百字以内。原稿用紙の正しい使い方にしたがって書くこと。)

また、題名は書かずに本文から書き始めること。)

高校に入るまでは、当たり前のように売られている野菜やスイーツをたくさん買い、ただ「おいしいな」としか思わず過ごしてきました。しかし、高校に入り、実習や座学で農業のことについて学びました。

野菜作りも「こんなの簡単だな」と思っていました。育てていく中で虫に食べられたり、動物に荒らされたり、枯れたりしてとても苦労しました。そして野菜を育てるのはとても難しいことなんだと学ぶことができました。

日頃の生活で当たり前のように買っていた野菜などには、生産者の人たちの苦労と時間がたくさんかけられているのを知りました。自分たちがしていかないといけないことは、買えることを当たり前だと思わず、それぞれの野菜に多くの時間がかけられていると思うことです。感謝の気持ちを忘れずに生活していくことが大切です。僕も感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

(京都新聞より一部改)